

令和7年11月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年11月分について、輸出額は「石油製品」などが増加したものの、「映像機器」、「電気回路等の機器」などが減少したことから、対前年同月比0.4%の減少となった。また、輸入額は「石炭」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが減少したことから、同0.2%の減少となった。

その結果、差引額は850億円（同0.1%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	953億円	▲0.4%	1,803億円	▲0.2%	▲850億円	▲0.1%
16カ月連続の減少		2カ月ぶりの減少				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)石油製品	73億円	+51.5%	輸入	増加品目	(1)石炭	77億円	+170.3%
		(2)自動車	202億円	+10.8%			(2)液化天然ガス	269億円	+18.3%
		(3)写真用・映画用材料	37億円	+61.7%			(3)その他の採油用種子	15億円	+416.8%
	減少品目	(1)映像機器	4億円	▲87.7%		減少品目	(1)原油及び粗油	945億円	▲8.5%
		(2)電気回路等の機器	50億円	▲26.3%			(2)石油製品	75億円	▲22.5%
		(3)生ゴム	18億円	▲28.3%			(3)自動車	39億円	▲35.7%
地域別動向		アジア、中南米が減少、西欧は増加				中東、アジアが減少、大洋州は増加			

（参考）ドルレートは、153.17円（前年同月比0.2%、0.34円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。